

平成 30 年度第 1 回土居町地域づくり協議会議事概要

- 1 会議名 平成 30 年度第 1 回土居町地域づくり協議会
- 2 日 時 平成 31 年 2 月 15 日（金）午後 2 時 00 分～3 時 10 分
- 3 会 場 長津公民館 大ホール
- 4 出席者  
委 員 委員長 高橋英吉 副委員長 松木博是 江口 忠 江口徹子  
近藤節子 近藤達之介 近藤博昭 鈴木良明 続木一雄  
森実 信 渡邊和春 豊田耕造 筒井英輝 越智 寧  
理事者 篠原市長 政策部長 建設課長 農林水産課長 農業振興課長  
給水整備課長 下水道課長 産業支援課長 地域振興課長  
教育総務課 2 名 こども課 1 名 建設課 1 名 農林水産課 1 名  
産業支援課 1 名 給水整備課 1 名 下水道課 1 名 安全危機管理課 1  
名  
事務局 地域振興課 2 名
- 5 欠席者  
委 員 近藤信行
- 6 傍聴者 なし

協 議 事 項 等

- 1 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 議事
    - ①委員長・副委員長選任
    - ②平成 3 0 年度事業実績について
    - ③平成 3 1 年度事業予定について
    - ④その他
  - (4) 閉会
- 2 会議概要
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 議事
    - ① 委員長・副委員長の選任について  
委員より委員長に高橋英吉氏、副委員長に松木博是氏の推薦意見があり、両者了承のうえ、選任される。
    - ② 平成 30 年度事業実績について

〈各担当課より説明〉

主な意見

委員：海通橋の工事は平成 30 年度中に全部整備されるのか。

〈建設課より説明〉

理事者 31 年 2 月に橋梁が完成する。供用開始は来年の秋になる。

③平成 31 年度予定事業について

〈各担当課より説明〉

委員 下天満地区の下水道集配水整備事業ですが、110m というのは。

理事者 110m は 31 年度単年度の事業予定距離です。

委員 漁港内の事業について、事業を進めていく中で地域の人との話し合いは十分にできているのか。

理事者 勝手にすることはトラブルの元になるため、工事の進捗についても協議をしながら実施していきたい。ご協力をお願いする。

委員 昭和 46 年に土居町振興計画が策定され、豊かな住宅の町が目標となっている。工業団地の造成工事が進んでいますが、住民の住環境に十分配慮してほしい。

委員 学校のトイレの改修は全部終わったのか。

理事者 31 年度はエアコンの整備とブロック塀の改修を行う。トイレについては今後の課題となる。

委員 認定こども園は土居東幼稚園の児童も一緒に入るようになるのか。

理事者 土居東こども園は長津保育園の建替えとなり、土居東幼稚園はそのまま幼稚園として事業を継続する。保護者の働き方の変更によって、退園することなく預け方を選択できることが認定こども園の特徴である。

委員 定員は

理事者 全体は 105 名で幼稚園部分は 30 名である。幼稚園部分の受け入れ児童としてその人数分増えている。ただ新しい園ということで、土居東幼稚園に預けている子ども達が移行するのは少ない状況で、定員を超える応募はない。今後徐々に多くなると予想している。

委員 国道の歩道整備が進んでいるが、郵便局の西側（市道土居本道線）は土居小学校の通学路だが、歩道が整備されるとわかった時点で国土交通省と通学路の整備を交渉し効率的にできないか。

理事者 段差があり、危険と判断し転落防止策を施した。来年度も行う予定である。路線全体の改良については計画から考えないといけない。

委員 長津の歩道橋の所も将来的にはこのこと同じようになるのであれば、事前に国へ計画の提案をしてみてもどうか。

理事者 建設課の中に国道 11 号バイパス対策室があり、国の職員が出向してき

ている。逐一通学路とか交差点改良で協議を行っているので、委員の意見も考慮していきたい。

委員 土居派出所付近の道路舗装が悪く、バイクで転びそうになったが、事故につながるので舗装改良をお願いしたい。

理事者 委員ご指摘の箇所については、2月の入札で舗装改修を発注予定である。また、カーブは安全の誘導を図るため区画線を施す。

委員 関川の林道の通行できない所があるが、解決策はないのか。

理事者 森林組管理の林道である。土地の境界の関係で交渉が進まないと聞いている。

委員 暁雨館について、職員の専門性を安心して発揮できる体制をお願いしたい。

委員 この地域づくり協議会は年1回の会か。

理事者 毎年 この時期にその年の事業実績と来年の計画が出されるので1回行っている。今後もその予定である。

委員 土居町の下水道の整備を行う予定は。

理事者 旧の川之江市・伊予三島市の下水道の普及率が現在60%ぐらいだが、国から早急に100%にと指導を受けている。土居町においては合併浄化槽で対応をお願いしたい。

委員 財政的に厳しくなってきたと聞いたが、災害が多くなってきた時には計画通りにいかない状況になってくるのではと懸念するがどうか。

理事者 当市においては雇用・企業の設備投資もあり、税収も伸びてはきているが、人口減少が始まる2040年ころからは厳しくなり、公共施設の複合化を図らなければ財政的に持たなくなる。